

e-Piano ジュニア 2011: 出場者規約

e-Piano ジュニアコンクールは2011年7月1日から8日にかけて米国、ミネソタ州、セントポールとミネアポリスにおいて開催される。

コンクールの公式言語は英語とする。コンクール規約に疑問が生じた場合は英語版を参照するように。課題曲に関する疑問、規約の解釈に疑問がある場合はコンクール事務局にコンタクトすること。規約を注意深く読むこと。プログラムが課題曲を全て含み制限時間内であることは応募者の責任においてなされること。それぞれの作品の演奏時間を明記すること。

e-Piano ジュニアコンクールは全ての国籍の2011年7月1日現在で17歳未満のピアニストに開放される。コンテストは1993年7月1日以降に誕生したものに限る。

コンペティターはe-Piano ジュニアコンクールの期間中に他のいかなる演奏の約束もしてはならない。コンクールに先立つ5年間(2006年7月1日から2011年7月8日)のあいだに審査員及び音楽監督が主要な教師であった者は応募できない。審査員及び音楽監督の親戚であるものは応募できない。60名の参加者が2010年12月に発表された後、コンテストは審査員や音楽監督のマスタークラスまたは個人レッスンを受けてはならない。この規則に反したものは参加資格を剥奪されます。

コンテストはコンクール参加中には審査員や音楽監督にコンタクト、会話してはならない。この規則に反したものは参加資格を剥奪される。

賞金を受け取るためには有効な社会保険番号か納税者番号を提出すること。

全ての参加者は成人の保護責任者に付き添われるか、母国からの出発に先立ってコンクール事務局と適切な旅行のアレンジメントをする必要がある。

全ての演奏は暗譜で行われなければならない。

コンクール期間中に収録された全てのビデオ、オーディオ、MIDI記録、写真、インタビューの権利はミネソタ国際 e-Piano ジュニアコンクールと Musicians in Debut International に属する。

外国からのコンテストとその同伴者はパスポートとビザを準備しなければならない。リサイタルラウンドに合格したE-Piano ジュニアのコンテストは最寄の米国大使館か領事館にコンタクトし入国についてアドバイスを得なければならない。コンテストはミネアポリス/セント・ポールまでの交通手段について自分で手配しなければいけない。ミネアポリス/セント・ポールまで来訪する24名のコンテストに対して居住地からのエコノミークラス往復航空券料金(最大で1000ドル)が

支給される。同伴者の旅費は支給されない。ミネソタまで来てコンクールに参加することを中止した場合は何も支給されない。旅費は2011年7月にミネソタに到着したときに支給される。旅費の領収書が必要。